

信州大学学術研究院 教育学系 講師または助教
(主担当：大学院総合人文社会科学研究科総合人文社会科学専攻心理学分野) 公募要領

1. 公募の趣旨・背景

国民の心の健康の保持増進を目的として公認心理師法が施行され、心理支援の専門家への社会的要請はますます高まっている。こうした中、科学的視点を持った実践家の養成が求められている。信州大学では、そのようなニーズに応え、質の高い専門家を養成するために、臨床心理学分野で高い教育研究能力を有した人材を一般公募する。

2. 職名・人員

講師または助教・1名

3. 所属学系

信州大学学術研究院 教育学系

4. 主担当学部等

大学院総合人文社会科学研究科総合人文社会科学専攻心理学分野

5. 研究分野

臨床心理学分野

6. 職務

担当授業科目

大学院：臨床心理基礎実習、臨床心理実習Ⅰ、臨床心理実習Ⅱ（心理実践実習Ⅱ）、臨床心理実習Ⅲ（心理実践実習Ⅲ）、臨床心理実習Ⅳ（心理実践実習Ⅳ）、臨床心理実習Ⅴ（心理実践実習Ⅴ）、心理実践実習Ⅰ、投影法特論、臨床心理学特論Ⅱ、臨床心理面接特論Ⅰ（心理支援に関する理論と実践）、臨床心理面接特論Ⅱ、社会課題別PBL、教育分野に関する理論と支援の展開、社会心理学特論（産業・労働分野に関する理論と支援の展開）、家族心理学特論（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と支援の展開）、心理学研究指導Ⅰ、心理学研究指導Ⅱ、心理学総合演習Ⅰ、心理学総合演習Ⅱ、人文社会科学修論課題合同発表

7. 応募資格

- (1) 大学院修士課程修了（博士の学位を有することが望ましい）
- (2) 臨床心理士の資格を有すること
- (3) 公認心理師の資格を有すること
- (4) 心理分野の教育に係る実習または演習の教授に関し、3年以上の担当経験を有する者が望ましい
- (5) 公認心理師実習演習担当教員養成講習会を受講済み、あるいは今後に受講予定であること

8. 採用予定日

令和8年4月1日

9. 任期

任期の定めなし

（定年は年齢65歳とし、定年に達した日以後における最初の3月31日に退職する）

10. 待遇

給与：本学規定に基づく年俸制

（国立大学法人信州大学年俸制適用職員給与細則第4条及び第5条適用）

勤務地：信州大学長野（教育）キャンパス（長野県長野市西長野6-ロ）

勤務形態：常勤，裁量労働制

社会保険等：文部科学省共済組合，雇用保険加入

このほか，国立大学法人信州大学の規定に基づく

11. 提出書類

(1) 履歴書（市販の用紙も可。写真貼付）

＊履歴書の様式は，指定しませんが，賞罰について項目のある履歴書をご使用ください。

もし，賞罰について項目がない様式をご使用する場合は，備考欄等に，賞罰について，記載願います。賞罰について，記載のない場合は，面接等で確認させていただきます。

(2) 最終学歴を証明する書類

(3) 研究業績目録（外部資金の獲得実績や申請状況等を含む）

（ホームページ <https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/education/news/participants/> から書式をダウンロードし記入すること）

(4) これまでの研究概要を著書・論文などと関連させて記載したもの（1000字程度・書式自由・日本語）

(5) 教育活動歴

ア．担当授業科目 高等教育機関においてこれまでに担当した授業科目名

イ．大学院研究科での研究指導歴もしくは研究指導補助歴 主査もしくは副査として学位を取得させた大学院生数（主査の場合，副査としての数も括弧書きで示す）

(6) これからの本学大学院での教育に対する抱負を，教育活動歴及びその内容を踏まえて記載したもの（1000字程度／書式自由・日本語）。

(7) ケース担当歴

所属機関，おおよその担当件数，おもな担当業務を表形式でまとめたもの（書式自由）

(8) ケースへの取り組み

心理士としてどのようにクライアントに関わっているか，基本的な考え方や態度，主に用いている検査や技法等について1ページ程度（A4）にまとめたもの。

(9) 臨床心理士資格登録証明書のコピーおよび公認心理師試験合格証書のコピー（保有者のみ）

上記（1）～（9）について，各1通を提出すること。

上記（3）に記載の業績のうち主要な5点について，現物もしくは別刷またはコピーを各1部提出のこと。なお，後日，目録記載のすべてについて現物またはコピーの提出を求めることがある。

12. 応募締切

令和7年8月18日（月）消印有効

13. 選考方法

第一次選考（書類審査）を経て，第一次選考合格者に対する第二次選考（面接及び模擬授業）により選抜を行う（その際の旅費等は応募者の自己負担とする）。

※信州大学は男女共同参画を推進しており，業績等（研究業績，教育業績，社会的貢献ほか）及び人物の評価において同等と認められた場合には女性を採用します。ただし，これは性別のみで優先的に採用することを認めるものではありません。

1 4. 書類提出先

〒380-8544 長野市西長野 6-ロ

信州大学教育学部長 西一夫 宛

(必ず郵便書留とし、表に「総合人文社会科学研究科グループ 教員応募書類在中」と朱書きすること)

1 5. 問合せ先の e-mail

kyou_saiyo09@shinshu-u.ac.jp

1 6. 関連のホームページの URL

信州大学教育学部

<https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/education/>

総合人文社会科学研究科

<https://www.shinshu-u.ac.jp/graduate/humanitiesandsocialsciences/>

1 7. その他

- ・信州大学では、研究者がその能力を最大限発揮できるよう、研究補助者制度やメンター制度の導入による研究環境の整備を行っています。特に、女性研究者支援として、新規採用の女性教員（常勤）に研究費を支援する「スタートアップ研究費支援」や、育児・介護休業等から研究活動に復帰した際に研究費を支援する「リスタートアップ研究費支援」を実施しています。また、教職員のワーク・ライフ・バランスの推進として、学内保育施設運営、ベビーシッター派遣事業割引券の配付、大学入学共通テスト等における一時保育など男女共同参画へ積極的な取り組みを行っています。
- ・信州大学では、極めて優秀な若手研究者に「Rising Star 教員」の称号を授与し、手当の支給、早期昇進機会を付与するなどの優遇措置を行うことで、最先端の研究を牽引するトップレベル研究者を養成する制度を設けております。
- ・履歴書には賞罰・処分歴等欄を設け、受賞歴と、前科及び懲戒処分歴をそれぞれ記載してください。前科及び懲戒処分歴に該当事項がありながらそれらを記載しない場合は経歴詐称とみなす場合があります、採用取消や懲戒解雇等に繋がる可能性があります。